

【研究の名称】

認知症ケアチームとリハビリテーション介入の相乗効果に関する研究

【研究の目的・意義】

リハビリテーションは高齢者の日常生活活動改善や社会復帰に重要な役割を果たします。また、近年、医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、リハ専門職で構成される認知症ケアチームなどが提供する包括的なケアは注目されています。認知症ケアチームのような各専門職の関りを統合するような組織の存在は、個別のリハビリテーション介入の効果を高めることが期待できます。しかしながら、認知症ケアチームとリハビリテーション介入の相乗効果については十分に検討されていません。そこで、認知症ケアチームとリハビリテーション介入の相乗効果を明らかにするために、リハビリテーションを実施し、認知症ケアチームが介入した患者様（吹田市市民病院）と、リハビリテーションは実施したが認知症ケアチームの関与がなかった施設（公立藤岡総合病院）における同属性の患者様の日常生活活動等の改善を比較検討することを計画しました。

【研究の方法および期間】

認知症ケアチームが介入した施設（吹田市市民病院）の患者様の多くは手術適応の運動器疾患であったため、公立藤岡総合病院でのデータの収集は、手術適応の運動器疾患の患者様のデータを収集します。調査期間は、2020年4月から2022年3月までに公立藤岡総合病院に入院した患者様とし、カルテより、以下の項目を収集します。

- ①基本属性：年齢、性別、家族構成、介護保険申請の有無、入院前の日常生活活動、入院中の介護保険申請の有無、転帰先、診断名、リハ算定料、合併症、入院期間、リハビリテーション実施時間
- ②評価：日常生活活動評価、テープ付き紙おむつ使用の有無、身体拘束の有無（種類）、行動心理症状（幻覚、徘徊、興奮など）、せん妄の有無、抗不安・精神薬・認知症薬の有無

【研究協力の辞退について】

この研究に協力を希望されない患者様は、下記担当者までお知らせ下さい。研究に協力されない場合であっても、患者様が不利益を被ることはありません。

【個人情報の保護】

本研究ではカルテからデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護に最大限の注意を払います。研究のために知り得た個人情報は院外に持ち出さず、記録物とあわせて施設可能な場所に厳重に保管保存します。統計解析のために、院外に持ち出す場合は、個人が特定できる情報をすべて削除し、匿名化された状態にした後、共同研究施設（群馬パース大学）に提出します。この研究で得られた成果は、今後、学会発表や学術雑誌等で公に発表されることがありますが、協力して頂いた個人を特定できる情報を公開することはありません。

2022年9月5日

【問い合わせ先】

〒370-0006

群馬県高崎市間屋町 1-7-1

TEL 027-365-3366（代）

Mail: kenkondoot@gmail.com

群馬パース大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 近藤健